

兵庫県で採集した蛾の記録

山本 義丸

兵庫県産蛾類の分布資料として、筆者は先年氷ノ山とその周辺地域の蛾相について兵庫生物(1955-'59)に報告し、また氷上郡地方の蛾相について兵庫県氷上郡昆虫目録(1958)の中に報告した。いずれも古い時代のものであったので、分類学上の位置の変更や誤同定の修正を施し、また未記録であったものを追加して、前者については兵庫生物(1989)に、後者についてはきべりはむし(1996-'97)にそれぞれ補正報告を発表した。

本報は、それらのほかに兵庫県内各地で採集した標本のうちで、これまで県未記録の種や採集例があまり多くないものについてまとめたものである。古い記録ではあるが資料として報告する。*印を付したものは兵庫県未記録と思われるものである。

なお、主な採集地は鉢伏高原、段ヶ峰(生野高原)、扇ノ山(畑が平高原)、神鍋(日高町)、漣川山(村岡町)などであり、一部に城崎温泉、湯村温泉、伊丹市などのものがある。また、氷ノ山及び氷上郡で採集して未記録であったものを含んでいる。

<ヤガ科 NOCTUIDAE>

1. *Anacronicta plumbea* (Butler)
ナマリケンモン 段ヶ峰。♂, 6. VII. 1953.
兵庫県内では氷上郡、宝塚市などの記録があり、大阪府箕面にも産する。
2. *Colocasia jezoensis* (Matsumura)
ネグロケンモン 鉢伏高原。♀, 23. VII. 1975.
氷ノ山、引原ダム、須留ヶ峰など山地での記録がある。
3. *Narcotica niveosparsa* (Matsumura)
シロフクロケンモン 鉢伏高原。♀, 24. VII. 1974; ♀, 23. VII. 1975.
数はあまり多くはないが、各地で記録されており、低山地にも産する。

4. *Heliocheilus fervens* (Butler)

ニセタバコガ 段ヶ峰。♂, 6. VII. 1953.

原色昆虫大図鑑(1), pl. 67:5(1959)に図示されているのがこの標本である。その後全国各地で採集され、県内でも摩耶山、関宮町、宝塚市(西谷)などの記録がある。

5. *Pyrrhia bifasciata* (Staudinger)

ウスオビヤガ 神鍋。♀, 19. VII. 1976.

氷上郡や引原ダムの記録があるが、あまり多くない。

6. *Polia goliath* (Oberthür)

オオシモフリヨトウ

鉢伏高原。♀, 24. VII. 1974.

本州では山地性で、ほかに氷ノ山でも記録している。

* 7. *Lacanobia contigua* (Denis & Schiffermüller) ムラサキヨトウ 鉢伏高原。♀, 24. VII. 1974.

本州では東北や中部の山地帯に産する。筆者は長野県白樺湖でも採集しているが、関西では未知である。

8. *Mythimna grandis* Butler

オオフタオビキヨトウ 鉢伏高原。3♂, 24. VII. 1974; ♀, 23. VII. 1975.

本州西南部では高地性となる。県内では摩耶山の記録がある。

9. *Mythimna divergens* Butler

ナガフタオビキヨトウ

段ヶ峰。♀, 7. VIII. 1953.

山地性であるが前種よりは多いようで、但馬の山地、引原ダム、氷上郡(粟鹿山)などで記録されている。

10. *Cucullia fraterna* Butlerホソバセダカモクメ 伊丹。♂, 26. VI. 1958.
(幼虫飼育, 羽化)。

阪神地域でも各地で採集されているが多く

はない。

11. *Cucullia elongata* (Butler)

キクセダカモクメ 神鍋. ♂, 19. VII. 1976.

山地性の種で、摩耶山、引原ダムなどの記録があるほか、宝塚周辺でも記録されている。

* 12. *Anapamea minor* (Sugi)

ヒメキイロヨトウ

鉢伏高原. ♂, 24. VII. 1974.

産出はやや局地的とされている。筆者は長野県白樺湖でも採集している (Paratype)。

13. *Amphipoea ussuriensis* (Petersen)

ショウブヨトウ 段ヶ峰. ♂, 6. VIII. 1953.

鉢伏高原. ♀, 24. VII. 1974.

氷ノ山や猪名川町の記録がある。但馬の山地には広く分布すると思われる。

* 14. *Athetis pallidipennis* Sugi

キバネシロテンウスグロヨトウ 鉢伏高原.

1♂2♀, 24. VII. 1974 ; 1♀, 23. VII. 1975.

北海道から本州中部地方の山地に分布が知られている。

15. *Cosmia restituta* (Walker)

シラホシキリガ 鉢伏高原. ♂, 24. VII. 1974.

山地性の種で、県内では須留ヶ峰の記録がある。

16. *Chasminodes sugii* Kononenko

クロハナギンガ 鉢伏高原. ♂, 23. VII. 1975.

17. *Chasminodes unipuncta* Sugi

ヒメギンガ 段ヶ峰. ♀, 7. VIII. 1953.

ギンガ属は兵庫県で6種記録されており、いずれも山地のものである。

18. *Dysgonia dulcis* (Butler)

ヒメアシブトクチバ 神鍋. ♂, 19. VII. 1976.

19. *Melapia electaria* (Bremer)

ユミモンクチバ 瀨川山. ♂, 21. V. 1967.

20. *Calyptra albivirgata* (Hampson)

ハイイロオオエグリバ

鉢伏高原. ♀, 24. VII. 1974.

21. *Hypocala subsatura* Guenée

タイワンキシタクチバ

神鍋. ♂, 19. VII. 1976.

以上4種は珍しい種ではないが、県内ではまだあまり多くは記録されていない。

* 22. *Pangrapta yoshinensis* Wileman & West

ヨシノツマキリアツバ

柏原. ♂, 3. VII. 1954.

氷上郡地方の蛾類に追加すべきものである (これまで未同定のままになっていた)。分布は局地的で、近畿では奈良、和歌山両県に記録があり、筆者も吉野で採集している。

* 23. *Anatatha wilemani* (Sugi)

クロオビアツバ 鉢伏高原. ♀, 24. VII. 1974.

新潟、福井、近畿以西の本州に分布するが局地的のようである。

<ドクガ科 LYMANTRIIDAE>

1. *Arctornis chichibense* (Matsumura)

ヒメシロドクガ 扇ノ山. ♀, 19. VIII. 1953.

氷ノ山や須留ヶ峰の記録があり、県北部の山地には広く分布すると思われる。

<シャチホコガ科 NOTODONTIDAE>

1. *Ellida viridimixta* (Bremer)

シロテンシャチホコ

鉢伏高原. ♀, 24. VII. 1974.

本種以下の各種は、氷ノ山とその周辺や引原ダムなどで記録されており、県北部の高地帯に分布するものと思われる。いずれも丹波地方では未知である。

2. *Nerice bipartita* Butler

ナカスジシャチホコ

段ヶ峰. 2♂, 5-7. VIII. 1953.

3. *Notodonta albicosta* (Matsumura)

マエジロシャチホコ

鉢伏高原. ♀, 23. VII. 1975.

4. *Peridea rotundata* (Matsumura)

マルモンシャチホコ

鉢伏高原. ♀, 23. VII. 1975.

5. *Fusapteryx ladislai* (Oberthür)

シロスジエグリシャチホコ

扇ノ山. ♂, 18. VIII. 1953.

6. *Gluphisia rurea* (Fabricius)

コフタオビシャチホコ

鉢伏高原. ♂, 24. VII. 1974.

<カレハガ科 LASIOCAMPIDAE>

1. *Euthrix potatoaria* (Linnaeus)

ヨシカレハ 段ヶ峰. ♂, 6. VIII. 1953.

関東以西では山地性で、氷ノ山でかなり多く採集している。

<シャクガ科 GEOMETRIDAE>

1. *Scopula emissaria* (Walker)

キトガリヒメシャク 伊丹. ♀, 27. V. 1958.

本州からインド、オーストラリアにかけて分布する種で珍しいものではないが、県内の記録は氷上郡、淡路島などで多くはない。

2. *Trichopteryx misera* (Butler)

クロシタコバナナミシャク

城崎. ♂, 29. III. 1954.

早春の発生で、北摂地域や佐用郡三日月町の記録があるがあまり多くない。

3. *Trichobaptia exsecuta* (Felder & Rogenhofer)

シロオビクロナミシャク

段ヶ峰. ♂, 7. VIII. 1953.

昼飛性で山地に見られる。県内では宝塚市西谷の記録がある。

* 4. *Rheumaptera neocervinalis* Inoue

キボシヤエナミシャク

段ヶ峰. ♀, 6. VIII. 1953.

北海道から中部山地にかけて知られており、京都も記録されている。

* 5. *Rheumaptera hecate* (Butler)

サカハチクロナミシャク

澁川山. ♂, 21. V. 1967.

関東以西では山地性で、中部山地には普通とあるが、近畿ではまれと思われる。

* 6. *Chiloroclystis kumakurai* Inoue

チビアオナミシャク

段ヶ峰. ♀, 7. VIII. 1953.

珍しい種類ではないが、小形のためか県内では採集記録を見ない。

7. *Abraxas fulvobasalis* Staudinger

クロマダラエダシャク

澁川山. 5♂1♀, 21. V. 1967.

本種の確実な同定には交尾器検査が必要であって、筆者にとっては県内で確認しているのはこれだけである。この採集地には多発していた。

8. *Ectephrina semilutea* (Lederer)

アカエダシャク 湯村. ♀, 19. VIII. 1953.

本種以下の各種は、分布上特に珍しいものではなく県内各地の記録があるが、一般にあまり多くはない。

9. *Amblychia insueta* (Butler)

チャマダラエダシャク

神鍋. ♂, 19. VII. 1976.

10. *Biston regalis* (Moore)

ハイイロオオエダシャク

鉢伏高原. ♀, 24. VII. 1974.

<トガリバガ科 THYATIRIDAE>

1. *Macrothyatira flavida* (Butler)

キマダラトガリバ 段ヶ峰. ♀, 6. VIII. 1953.

関東以西の本州では高地性で、氷ノ山、引原ダム等の記録がある。

<カギバガ科 DREPANIDAE>

1. *Sabra harpagula* (Esper)

ウスオビカギバ 鉢伏高原. ♀, 23. VII. 1975.

関東以西では高地性で、氷ノ山、須留ヶ峰の記録がある。

2. *Deroca inconclusa* (Walker)

ホシベッコウカギバ 段ヶ峰. ♂, 8. VIII. 1953.

山地性の種で、県北部の山地帯ではよく見られる。

<メイガ科 PYRALIDAE>

1. *Stericta kogii* Inoue & Sasaki

ネグロフトメイガ

段ヶ峰. ♀, 7. VII. 1953.

山地性の種で、氷ノ山でも採集している。

2. *Myelois cribrella* (Hubner)

ゴママダラメイガ

段ヶ峰. ♂, 6. VII. 1953.

日本からシベリア、ヨーロッパに分布する種であるから山地性と思われる。県内では氷上郡妙高山及び有馬の記録が見られる。

<マドガ科 THYRIDIDAE>

* 1. *Pyrinioides aureus* Butler

ハスオビマドガ 段ヶ峰. ♀, 6. VII. 1953; 鉢伏高原. ♀, 23. VII. 1975.

関東以西では山地性の種で、北摂地域(箕面、豊中)の記録があるがまれである。

<マダラガ科 ZYGAENIDAE>

1. *Rhagades pruni* (Denis & Schiffermüller)

ルリハダホソクロバ

段ヶ峰. ♂, 6. VII. 1953.

昼飛性、日本からヨーロッパにかけて知られる広分布種である。近畿では1932~37年に採集された能勢妙見山、豊中市、及び池田市の記録があるが、今回のものも含めて

古い記録のみである。

<スカシバガ科 SESIIDAE>

* 1. *Nocona feralis* (Leech)

キクビスカシバ(ダイセンアトスカシバ)

扇ノ山. ♀, 18. VII. 1953.

鳥取(大山)、福岡、岐阜、長野など各県と北海道の記録があるが、一般にまれである。

<ハマキガ科 TORTRICIDAE>

* 1. *Cryptophlebia yasudai* Kawabe

オオアシブトヒメハマキ

氷ノ山. ♂, 11. VII. 1956.

東北から中部山地に分布が知られる大形のヒメハマキである。これまでの記録に脱落していた。

<マカリガ科 INCURVARIIDAE>

* 1. *Nemophora rubrofascia* (Christoph)

ベニオビヒゲナガ 氷ノ山. ♀, 22. VII. 1954.

全国的に分布する種で、当地方では山地性と思われ、これまで未記録であった。

(YAMAMOTO YOSHIMARU 大阪府池田市渋谷2-2-20)

明石公園のキョウトアオハナムグリ

山口 福男

1997年6月下旬から7月中旬にかけて明石公園のキョウトアオハナムグリの発生状況を観察したので報告する。

キョウトアオハナムグリが明石公園に発生することに私が気づいたのは1972年の夏であった。しかし発生のピークからかなり遅れていたため採集できたのは数匹に過ぎなかった。そこで翌年の1973年6月中旬に再調査したところ、流蜜してい

る数本のアベマキに多数の個体が吸蜜していたが、圧巻は直径が1メートルほどの大木の根元に群がる大群でその数は500匹は超えていた。アベマキ以外ではアキニレにも集まっていたが、個体数は多い木でも十数匹に過ぎなかった。この時に公園内にどれくらいのキョウトアオハナムグリが生息しているかについて調査しはじめたが、虫取りの子供たちに先に取られてしまって目的は果たすこ